

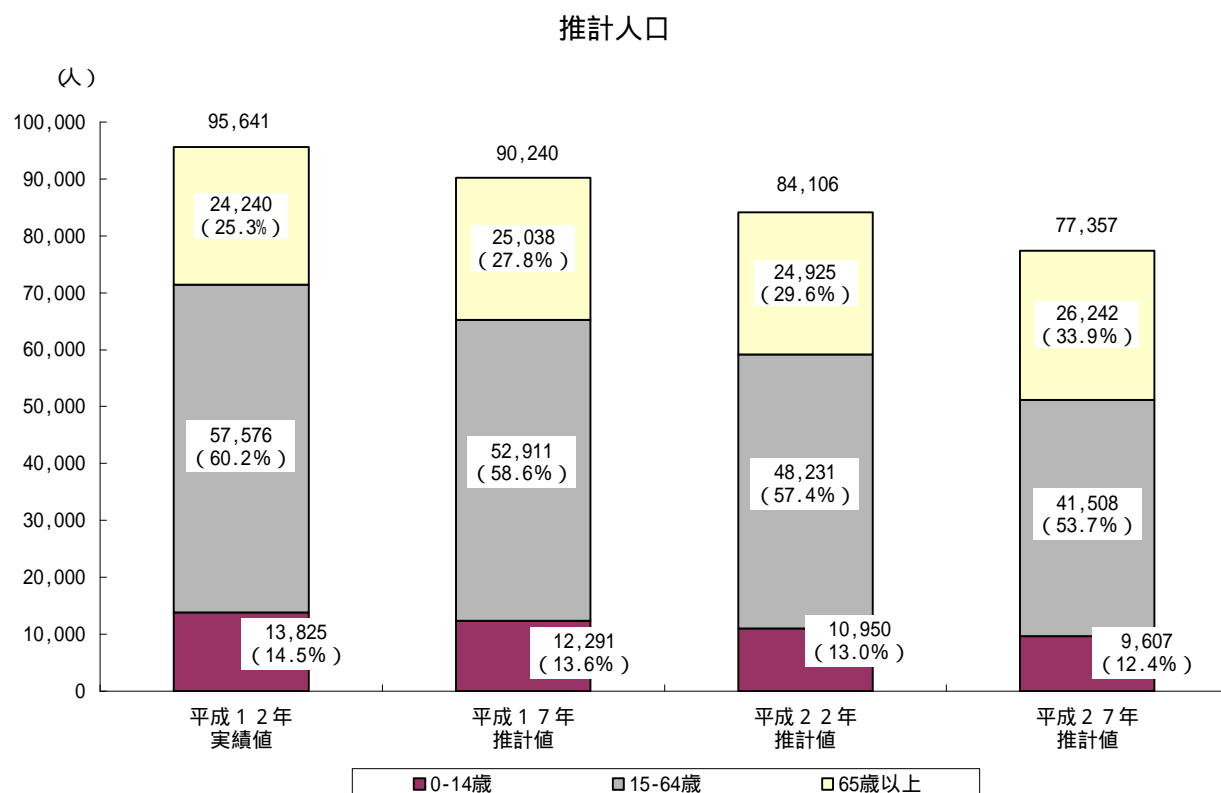
第6章 将来構想策定の前提

新市の将来構想を策定する前提として、推計人口や上位関連計画である「第五次愛媛県長期計画」や各市町の「総合計画」の方向性、住民ニーズなどを整理します。

特に、新市の将来構想の根幹となる基本理念や将来像は、推計人口や上位関連計画の内容、第5章までに述べた地域課題をふまえ、新市の規模や形態を的確に表現していく必要があります。また、住民意識調査によって得られた住民のニーズや、タウンウォッチングやワークショップを重ねてきた、議会代表者や学識経験者等による「新市将来構想策定小委員会」で検討された方向性を重視した将来構想を策定します。

第1節 推計人口

過去の四市町の国勢調査人口の合計の推移をもとに、センサス変化率を用いたコーホート法()により、新市の将来人口を推計すると、合併10年後の平成27年には8万人を割り込む結果となります。これは、あくまで過去の人口の推移に基づき推計したものであり、人口減少の緩和を図るには、合併による地域のイメージアップ効果・産業振興やUターン支援などの施策を展開することも必要と考えられます。特に若者の雇用機会確保が地域の発展には欠かせず、地域資源を活かしながら、新たな雇用の場を創っていくことが重要です。



()コーホート法：国勢調査のデータをもとに、その変化率により将来の人口を推計する方法

第2節 上位・関連計画の方向性

第1項 県の長期計画の方向性

第五次愛媛県長期計画は、平成12年度から平成22年度を目標年次として、21世紀初頭の愛媛県の進むべき発展方向と新しいビジョンを明らかにしています

宇和島圏域の目標像としては、「個性的な歴史・文化と豊かな自然や資源を活かした活力ある産業の創出と、穏やかで潤いのある定住空間やウェルネス()空間の整備により、四国西南地域をけん引する圏域」を目指すことが示されています。

また、主要な施策として「四国西南地域における中核都市としての都市機能の整備」「総合的フード産業集積ゾーンの創出」「複合レクリエーション・リゾートエリアの開発」「複合的ウェルネス集積ゾーンの形成」などがあげられています。

こうした方向性との整合性のとれた将来構想、建設計画とする必要があります。

()ウェルネス：健康。特に、単なる身体的健康だけでなく、精神的・情緒的など生活のすべての面で健康である状態やそういう状態の実現をめざす実践的な生活行動のことです。

県長期計画による宇和島圏域の目標像

「個性的な歴史・文化と豊かな自然や資源を活かした活力ある産業の創出と、穏やかで潤いのある定住空間やウェルネス空間の整備により、四国西南地域をけん引する圏域」

第2項 四市町の総合計画の方向性

四市町の総合計画における基本理念と将来像を整理すると以下の通りです。なお、各市町によって、「基本理念」「将来像」「基本目標」など表現が異なっていますが、ここでは、まちづくりの考え方を示す大きな柱を「基本理念」とよび、基本理念の下位に位置する分野ごとの目標像を「将来像」とします。

各市町の総合計画に掲げられた基本理念

宇和島市	『四季彩・宇和島、交歓のまち』 自然の恵みと歴史・文化を活かす 四国西南地域の中核都市をめざして
吉田町	『生活栽培タウン 吉田』 自然と共に、暮らしを育むまち
三間町	『豊かさと新しさが交差する交流拠点のまち』
津島町	『豊かな自然 あふれる笑顔 やすらぎの町 津島』

四市町の総合計画の基本理念の特徴を、キーワードでまとめると以下の通りです。

「豊かな自然」

津島町の基本理念に「豊かな自然」というキーワードがあり、宇和島市の「四季彩・宇和島」、吉田町の「生活栽培タウン」も豊かな自然を標榜しています。また、三間町の「豊かさと新しさ」も「豊かな自然に育まれた豊かな心～」と計画の中で位置づけています。

「交流」

宇和島市、三間町の「交歓のまち」「交流拠点のまち」「あふれる笑顔」は、交流の推進をめざしています。

各市町の総合計画に掲げられた将来像

宇和島市	まちづくりのテーマ うるおう - 自然にやさしいまちづくり 自然と調和・共生する居住環境の整ったまち 安らぐ - 心がふれあうまちづくり 保健・医療・福祉など生活支援サービスの充実したまち 学び深める - 文化の香るまちづくり 歴史的文化遺産を基盤として誇れる地域文化を育むまち にぎわう - 活力を生むまちづくり 自然からの恵みを活かした産業の盛んなまち 支える - 活動を支えるまちづくり 圏域の交流・連携の中心となる中核都市としての機能に満ちたまち 進める - みんなで進めるまちづくり 市民参加と効率的な行政運営で発展するまち
吉田町	基本目標 心豊かに、安心して生涯をおくれる福祉づくり 個性を育み、いきいき活躍する人づくり 自然を生かし、技と知で日本一を育てる産業づくり 自然を守り、安全で快適に暮らせる環境づくり 未来に向け、町民とともに歩むまちづくり
三間町	基本的施策 郷土の基盤づくりのために アメニティの向上のために 豊かなまちづくりのために 安らぎと健康の町づくりのために 町を支える人づくりのために 個性的な町づくりのために 行財政の合理化
津島町	基本施策 21世紀をひらく基盤づくり 21世紀に花咲く人づくりと地域文化づくり 21世紀を支える活力ある産業づくり 21世紀にやすらぐ生きがいの社会づくり 21世紀をまもる生活環境づくり 21世紀をつくる町民参加の町づくり

四市町の総合計画の将来像の特徴をキーワードでまとめると以下の通りです。

「自然との共生による快適な生活環境づくり」

「自然にやさしいまちづくり」「自然を守り、安全で快適に暮らせる環境づくり」など、自然との共生による快適な生活環境づくりを掲げているものが多くあります。

「やすらぎの福祉」

「安らぐ - 心がふれあうまちづくり」「安らぎと健康の町づくりのために」「21世紀にやすらぐ生きがいの社会づくり」など、医療福祉分野ではやすらぎという言葉を多く用いられています。

「活力ある産業」

「にぎわう - 活力を生むまちづくり」「21世紀を支える活力ある産業づくり」など、自然との共生による活力ある産業をうたったものが多くあります。

「住民参画によるまちづくり」

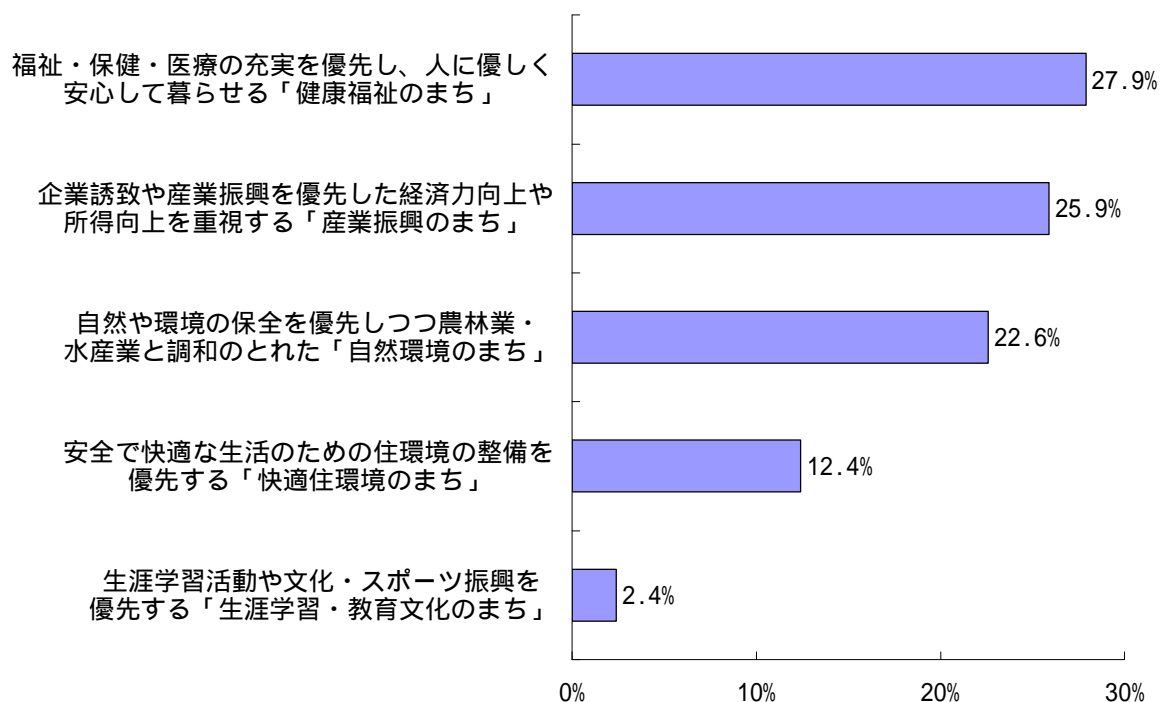
「進める - みんなで進めるまちづくり」「未来に向け、町民とともに歩むまちづくり」「21世紀をつくる町民参加の町づくり」など、住民との協働によるまちづくりを強調しています。

第3節 住民意識調査による住民ニーズ

住民意識調査によると、住民は、新市の将来のまちの姿に対して、「福祉・保健・医療の充実を優先し、人に優しく安心して暮らせる『健康福祉のまち』」と「企業誘致や産業振興を優先した経済力向上や所得向上を重視する『産業振興のまち』」を高い割合であげ、次に「自然や環境の保全を優先しつつ、農林業・水産業と調和のとれた『自然環境のまち』」をあげています。

設問 宇和島市・吉田町・三間町・津島町が合併するとしたら、新市の将来のまちの姿は、次のどれが最も望ましいと思いますか。

新市のまちの姿

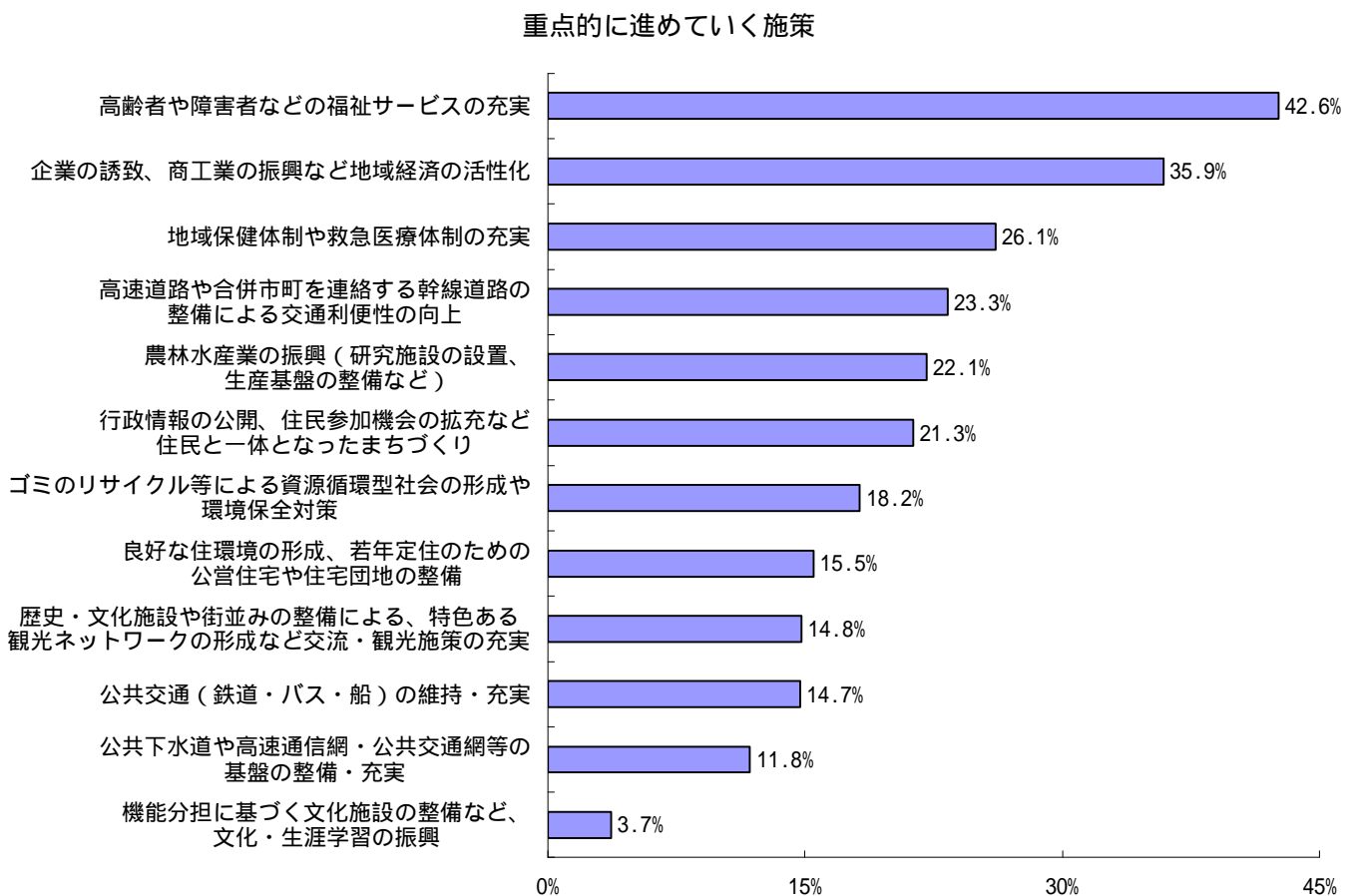


資料：住民意識調査

また、重点的に進めていく施策では、「高齢者や障害者などの福祉サービスの充実」を高い割合であげ、次に「企業の誘致、商工業の振興など地域経済の活性化」「地域保健体制や救急医療体制の充実」の順となっており、新市の将来のまちの姿と同じような結果になっています。

こうした結果を尊重した構想の策定が求められます。

設問 あなたは、宇和島市・吉田町・三間町・津島町が新市となった場合、重点的に進めていく施策は何だと思いませんか。



資料：住民意識調査

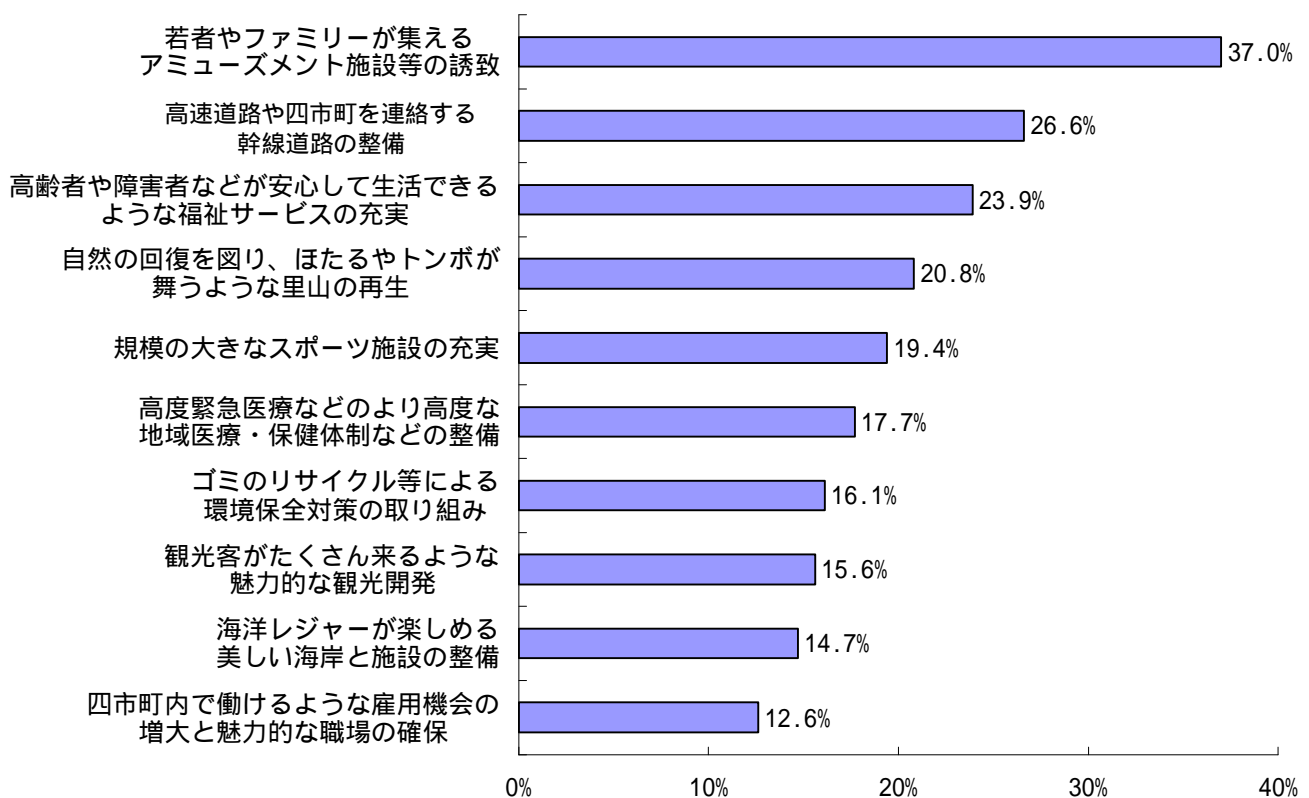
高校生が新市に望むことでは、「若者やファミリーが集えるアミューズメント施設等の誘致」が最も多く、次いで「高速道路や四市町を連絡する幹線道路の整備」「高齢者や障害者などが安心して生活できるような福祉サービスの充実」「自然の回復を図り、ほたるやトンボが舞うような里山の再生」などとなっています。

新市の将来を担う高校生のこうしたニーズを尊重していく必要があります。また、推計人口のところでみたとおり、新市の振興には若者の流失防止やUターンの増加などが欠かせず、若者のニーズに沿ったまちづくりを展開していく必要があります。

アミューズメント施設：遊園地や水族館などの娯楽施設

設問 あなたは、宇和島市、吉田町、三間町、津島町の四市町がもし合併したら、新しくできる市に何を望みますか。また、住みつづけるために必要なものは何だと思えますか。

高校生が新市にのぞむこと



資料：高校生の意識調査

第4節 「新市将来構想策定小委員会」の検討結果

新市将来構想策定小委員会では、平成14年6月20日に第1回小委員会を開催し、15回にわたって検討を重ねてきました。小委員会における最終まとめ案までの経緯は、下表に示す通りです。

小委員会では、検討に先立ちタウンウォッチングの実施により、各市町の公共施設、産業形態、医療・福祉施設、観光施設、景勝地などを視察・研究し、四市町の現状と課題を再認識するとともに、基本理念、将来像、検討プロジェクトに関するワークショップ等の実施により、委員の意見を施策体系の中で集約してきました。

小委員会での検討内容は、委員が各市町の合併研究会などに持ち帰り、各市町の議会代表者と学識経験者等である委員をとおして住民の意見が幅広く反映されるようにするとともに、小委員会はマスメディアも含めた公開形式をとり、内容を協議会だよりやホームページなどで紹介してきました。

第15回小委員会では、住民説明会の意見などを踏まえ、その結果を「最終まとめ(案)」としてまとめました。

新市将来構想策定小委員会検討経緯

第1回	平成14年6月20日	役員選出 新市将来構想について(事業計画案)
	平成14年7月3~5日	長野県更埴市視察研修
第2回	平成14年7月8日	合同研修会(講師 さぬき市担当者)
第3回	平成14年7月15日	住民意識調査の協議
第4回	平成14年7月26日	住民意識調査(設問について)協議(継続協議) タウンウォッチングについて協議 将来構想策定スケジュールについて協議
	平成14年8月10日 平成14年8月11日 平成14年8月20日	三間町・吉田町タウンウォッチング 津島町タウンウォッチング 宇和島市タウンウォッチング
第5回	平成14年8月30日	将来構想策定の検討方法 タウンウォッチングの集約(ワークショップ)
第6回	平成14年9月7日	将来構想骨子案策定(ワークショップ)
第7回	平成14年9月18日	協議会・小委員会合同意見交換会(四市町の地域資源についてのワークショップ)
第8回	平成14年10月7日 (法定第1回)	役員選出、事業計画案 将来構想骨格案(自由討議)
第9回	平成14年10月17日 (法定第2回)	将来構想骨格案(自由討議)(継続協議)
第10回	平成14年10月30日 (法定第3回)	将来構想骨格案(自由討議)(継続協議)
第11回	平成14年11月15日 (法定第4回)	将来構想骨格案(自由討議)(継続協議)
第12回	平成14年11月26日 (法定第5回)	将来構想骨格案(自由討議)(継続協議)
第13回	平成14年12月16日 (法定第6回)	将来構想中間まとめ案(自由討議)
第14回	平成15年2月6日 (法定第7回)	小中学生絵画選定
第15回	平成15年6月30日 (法定第8回)	将来構想最終まとめ案(自由討議)

小委員会の検討結果は、地域に愛着のある個性的な視点と、ワークショップの中で確認された多方面にわたる考え方に基づき、以下の通り集約されます。

「基本理念」は、各委員が1人1案ずつ提案し、自由討議の中で下表の6つの案に絞り込まれました。

「将来像」は、各市町の総合計画の骨格を参考に、5の基本的方向を確認したのち、各委員が1人1案ずつ提案し、ワークショップを通じて下表の案に絞り込まれました。

「検討プロジェクト」は、各委員が1人10案程度を提案し、将来像の基本的方向に沿って、ワークショップを通じて下表の案に整理されました。

「新市将来構想策定小委員会」での基本構想検討の体系

基本理念	<p>潮の香り 山の薫り 人のかおりのする都市 人と自然が輝く 交流と飛躍の夢拓く都市 明日につなぐ輝く笑顔 みんなで創る 四国西南都市 自然が美しい南予の未来を拓く共生と活力の都市 潮の香り 山の薫り 人のかおり 優美な歴史と生きいき生活展望都市 人と交わり、緑と話し、海と語らう多自然空間都市</p>
将来像	<p>恵まれた自然環境を保全し、快適に暮らせるまちづくり 地域特性を有効活用した産業の振興 夢、安心、思いやりのあるまちづくり 歴史・文化を基盤とし、個性を育み、いきいきと活躍する人材の育成 協働による住民主役の個性的なまちづくり</p>
検討プロジェクト	<p>生活環境・都市基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> 「命の循環」プロジェクト案 ・水＝命、森を育成し、川・海の浄化を推進する ・昆虫の森、めだかの小川の整備 ・下水道、集落排水事業の推進 ・国際環境基準 ISO14001 を取得し、ごみリサイクルの推進等環境先進都市へ ・「中心市街地 30分」構想 「中心市街地 30分」プロジェクト案 ・中心市街地へ車で 30 分の交通網を整備 ・以外の地域での公共交通網の整備 (旧町中心部へのワンコインバスの運行) ・30 分地域内での公営住宅整備 「都市基盤整備」プロジェクト案 ・循環先進都市づくり <p>産業振興</p> <ul style="list-style-type: none"> 「若芽育成」プロジェクト案 ・連携による後継者育成(生徒から、就労・起業家への一環システム構築等) ・雇用促進(企業誘致、地場産業・高度情報化産業・観光・サービス業の振興等) ・研究施設及び研究内容(安全・安心食物開発等)の充実による一次産業の振興 ・産官学連携による U・I・J ターン受入支援 「じばさんと観光育成」プロジェクト案 ・広域観光ルートの構築 ・自然と調和する循環型産業の育成と観光振興(体験型観光等) ・食・買・遊を備えた施設(物産館等)の整備 ・郷土料理の継承と起業活用 ・離島・僻地、一次産業、温泉等を活用した観光の開拓 ・札所・遍路と産業(観光等)の連携 「銀(真珠・魚・米)・黄(みかん)・緑(農林)輝く」プロジェクト案 ・農林水産業振興(真珠・魚養殖・みかん・米等の持続的発展と新規需要の拡大、新しい農林水産物の育成) ・活力ある商工業振興(旧市町の中核となる中心市街地活性化、企業誘致、起業支援等) ・新PRシステム・イベントの構築 ・商工会・商工会議所、JC・法人会、NPO諸団体等、民間活力の活性化 ・地場産業と直結した流通システムの構築 ・新規特産品開発

検討プロジェクト	産業振興	<p>「日本一づくり」プロジェクト案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養殖漁業、柑橘農業の研究施設の拡充 ・地産地消率日本一へ周辺農地の整備 ・地産地消率日本一の商店街めざし、“中心市街地活性化” <p>「交流人口倍加」プロジェクト案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食・買・遊を備えた物産館の創設 ・農・漁家の空家を利用した別荘化 ・四国西南域の観光ルート開発 ・“お四国さん”癒しの旅開発 ・日振島の観光開発、純友の発掘 <p>「産業振興」プロジェクト案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動の中での循環型社会の構築 ・商工業対策と振興 ・安全、かつ新鮮な食物・野菜・果物・魚直売所 ・自然を活かした観光開発の推進 ・日本一作り
	保健・福祉・医療	<p>「夢と思いやり」プロジェクト案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療・保健・福祉の連携（施設も含む）による生活支援サービスの充実（健康づくり、社会保障、保健医療、各種福祉等） ・高度医療システムの充実 <ul style="list-style-type: none"> 24時間利用可能な医療体制（救急等）と有効活用施策の確立 ・離島部などの医療（設備・体制等）の充実 ・介護支援体制の整備 <p>「3A（安心・安全・安穩）」プロジェクト案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉と社会参加・生きがいづくりの推進（シルバー人材センター等） ・障害者福祉の充実（生きがい支援システム・作業所の整備・雇用機会等） ・乳幼児・青少年福祉（心身の健康づくり・仲間づくり等）の充実 ・地域コミュニティの確立（見守り、健康推進、助け合い等の体制及び設備・施設） ・ボランティアシステムの確立（支えあう福祉等）
	教育・文化・歴史	<p>「資質開花」プロジェクト案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の整備 ・地域（家庭、学校、こどもの交流等）教育ネットワークの構築 ・地域教育の確立（週5日制の活用、体験型教育の推進等） ・学校施設・人材の有効活用 ・三世代交流事業の推進 ・青少年健全育成システムの構築 ・専任講師・リーダーの養成 ・人権・同和教育の推進 ・就学前幼児教育の充実 ・高等教育（大学・研究機関の誘致）の充実 <p>「おしゃれ都市育成」プロジェクト案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化・文化財等の継承と保護・活用 ・公民館・図書館・美術館・博物館等、施設設備の充実及び事業の推進 ・生涯教育・生涯スポーツの充実と住民活動の活性化 ・“郷土の誇り”醸成 ・郷土の歴史の継承・保存 ・芸術文化支援体制の確立 ・地域間・国内・国際交流の活性化 <p>（まちのこども、海・山のこども交流事業、牛鬼交流、世界特産品交流等）</p>
	住民参画	<p>「協働参画による力強い市制の推進」プロジェクト案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政への住民の積極的な参画 <p>（住民提案支援制度、住民モニター制度等による住民主役のまちづくり）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の推進（クォーター制度の導入） ・行政の情報公開の推進